



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU  
会津ワイズメンズクラブ  
CHARTERED ON FEB. 1993



《 例会 》 毎月第2火曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2018~2019 年度主題

国際会長 Moon Sang Bong(韓国) 「私たちは変えられる」  
アジア地域会長 田中博之 (東日本区) 「アクション」  
東日本区理事 宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 「為せば成る」  
北東部部長 涌澤 博 (仙台青葉城) 「チャンス到来 我ら北東部から世界へ」  
会津クラブ会長 青山孝男 「力の限り この地の塩として！」

<No.279 会津通信>  
2018年7月10日発行

会長 青山孝男  
副会長 高橋真美  
書記 高橋真人  
会計 高橋真人

◇7月の聖句◇

あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。

マタイ福音書5章14節

7月キックオフ例会

日時：2018年7月10日(火)19:00~

場所：日本キリスト教団 若松栄町教会

司会：高橋真人さん

- |                                       |              |
|---------------------------------------|--------------|
| 1. 開会点鐘                               | 会長 青山孝男      |
| 2. ワイズソング                             | 一同           |
| 3. 会長あいさつ                             | 会長 青山孝男      |
| 4. 連絡・報告                              |              |
| 5. 聖句朗読                               |              |
| 6. 食前感謝                               | 18-19年度方針と計画 |
| 7. 協議                                 | 予算(案)について    |
| 8. Happy Birthday! Happy Anniversary! |              |
|                                       | 19日 高橋真人さん   |

あかべこ

- |         |         |
|---------|---------|
| 9. 閉会点鐘 | 会長 青山孝男 |
|---------|---------|

<6月例会出席状況>

在籍者 5名 ゲスト0名

出席者 4名

\*例会出席率 80%

あかべこ

18-19年度合計 円

継続を力に!

会長 青山孝男

チャーターしたのが25年前の2月でした。つながりと支え合いから、少人数でもできることを、地域とのコミュニケーションを大切に歩んできました。継続を力にしてのキックオフは次の通りです。



活動方針

- (1) メンバーの個性をワイズの力に!  
個々のつながりからの可能性を今年度も発揮できるようにします。
- (2) できる活動をしっかりと継続する。  
無理なくできることをしっかりとアピールしながら継続します。
- (3) 会津という風土を味方に!  
目立つことはしていません。この地に植えられたワイズの芽も25年となりました。  
しっかりと歩みましょう。

☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。 ☆

## 7月号報告(東日本区報より抜粋)



『富士山のように高く』を大会のテーマとした、第21回東日本区大会(沼津)が、来賓に頼重沼津市長、神崎YMCA同盟総主事、田中次期アジア太平洋地域会長、大野西日本区理事、BF代表のROBINSON

ご夫妻を迎え、また、西日本区からは48名の参加を頂き総勢480名で開催されました。皆さんの思いが通じ、天候に恵まれ1日目の理事杯ゴルフを初め3日間とも最高の条件下で開催することができました。エクスカージョンに参加された方々もご満足いただけたことと思います。大会で青木元国際会長の司式による理事就任式が行われ、理事バッジ・メダリオンを宮内次期理事に引き継ぎました。今期同様に、次期もご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。大会をお手伝い頂いた近隣クラブの皆様、食事をする間もなく献身的にご奉仕頂いた沼津クラブの皆様、そして何よりも参加頂いた皆様のご協力で素晴らしい大会になりましたことに心より感謝申し上げます。

### 2018-2019年度 東日本区理事 宮内友弥

いよいよ2018-2019年度キックオフです。理事として本年度1年間皆様とご一緒にワイズライフを楽しみながら、カー杯東日本区の運営を推進していきますのでご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。ワイズ運動はトップダウンでは動かない一各部、各クラブの活動が主体であることは、言うまでもありません。

「リーダーがメンバーを動かすのではなく、メンバーが自ら動く組織に」。ビジョンを示したうえで、コミュニケーションや信頼関係の構築を重視し、メンバーを支援して、目標達成に導く、奉仕型のリーダー(サーバントリーダーシップの実践)を目指します。この理事としての考え方をご理解いただき、迅速な報・連・相(報告・連絡・相談)を励行して、将来のワイズの発展に向けてお力をいただきたくお願いいたします。1年間を終えて、振り返った時に、メンバーの皆様がワイズにいて良かったと思っただけの事を、何よりも願っています。

東日本区は、会員数の減少、財政の逼迫等、厳しい問題に直面しています。特に会員数の減少への対策は、喫緊の最重要課題です。何ができるか、何をしなければならぬかをお考えいただき、お一人おひとりが行動してくださることを願って、キックオフにあたり、理事メッセージとさせていただきます。

### 会津の先人たち(会津若松市HPより)

#### 同志社大学の創設に協力

山本 覚馬(やまもと かくま) (1828~1892)

#### 東京遷都(せんと)

京都は、1200年の間、天皇を中心とする日本の政治・文化の中心でした。しかし、明治政府は、新しい近代国家へ脱皮するため、江戸を東京と改称し、首都と決めました。

伝統的な京都の産業は、衰退の危機に晒(さら)されました。急激な近代化の流れの中、京都の産業の復興を進め、教育・福祉の充実に力を尽くした旧会津藩士が山本覚馬です。失明という障害を乗り越え、京都府顧問さらには最初の京都府議会の議長を務め、近代都市京都への脱皮を導きました。

#### 日新館蘭学所

山本覚馬は、文政11年(1828)に米代四之丁に生まれ、9歳で日新館に入学しています。26歳のとき黒船が来航、江戸へ呼ばれた覚馬は、欧米の軍事力に衝撃を受けます。そして洋式兵学を学び、3年後に日新館に蘭学所を創設しました。

#### 会津藩の京都洋学所

37歳の時、京都守護職を務める藩主松平容保のため、上京します。政情不安な京都で、砲兵隊を組織する一方、洋学所を設置し、他の藩士も受け入れながら藩士の教育に取り組んでいます。しかし、時局は一転、幕府は大政を奉還し、戊辰(ぼしん)戦争へと進展します。(以下次号)

#### ◆ 今後の予定 ◆

- ◇ 8月例会 8月14日
- ◇ ユニークダンス 8月22日  
午後7時 場所:アガッセ